

製品特性

- 1 スイニーはDPP-4を高選択的に阻害します(*in vitro*) (68頁)。
- 2 1日2回投与で朝・夕ともに食後活性型GLP-1上昇作用及び食後グルカゴン抑制作用を示しました(39、41~50頁)。
- 3 血糖日内変動を改善しました(40頁)。
- 4 優れたHbA1c低下作用を発揮し、その効果は52週にわたり持続しました(14~34頁)。
- 5 国内で実施された臨床試験において、1,179例中282例(23.9%)に臨床検査値異常を含む副作用が認められました。主な副作用は低血糖症79例(6.7%)、便秘33例(2.8%)、便潜血陽性20例(1.7%)等でした(35~36頁)。[効能追加承認時]
なお、重大な副作用として低血糖、腸閉塞があらわれることがあります(7頁)。